

INT. PROFESSORの家 — 昼(2ND FIDDLE)

Tormは、両親が亡くなった後に彼女と妹の面倒を見てくれていた男性と共に、Shadow Feverの実験を行っている。彼は両親の親しい友人であり、地元大学の教授でもある。Tormが仕事を引き継げる年齢になるまで、彼は保護者として彼女たちを支えてきた。

彼は自宅に研究室を作り、Tormの実験を手伝っている。Tormの知性が自分より優れていることを認めており、彼女の研究を支えながら自分の知識も広げられることを喜んでいる。さまざまな化学物質の組み合わせをShadow Feverのプレートで試しながら、二人はまるで時計仕掛けのように研究室を動かしている。

PROFESSOR

君の父親は騒音が嫌いで、とても短気になることがあった。
自分の言葉が周りの人にどんな影響を与えるか、
あまり気づいていなかったんだ。

教授は作業に集中しながら言う。

TORM

お母さんにもそんな態度だったの？

PROFESSOR

ああ、もちろんさ。
でも君のお母さんの機転は誰にも負けなかった。
ある時、彼が彼女にぶっきらぼうに言ったとき、
彼女はこう言ったんだ。

「あなたは自分の仕事あまり得意じゃないのね。
だって、あなたがやることは全部、
想像していたより良くなってしまっただから。」

TORM

はは、それは面白い..
待って...それって侮辱？それとも褒め言葉？

PROFESSOR

両方さ！
でも二人は、私がこれまで知っている中で
一番優しい夫婦だった。
私は今でもとても恋しく思っているよ。

TORM

父はいつも大きな本を持ち歩いていたのを覚える。

PROFESSOR

ああ...その本がどこにあるのか分かればいいのだが..
彼の頭の中に見えていたものは、本当に素晴らしかった。

(続く)

PROFESSOR(続き)

あの本から、私はどれほど多くのことを学べただろう。
幸運なことに、彼は私が知る中で
二番目に優秀な頭脳の持ち主だった。

TORM
二番目？
じゃあ一番は誰？

教授は優しい目でTormを見る。

PROFESSOR
間違いなく君だよ、可愛い子。君だ。

TORM
もし私が本当に優秀なら、
もう妹を治しているはず。
妹がベッドで苦しんでいるはずない。

PROFESSOR
Torm、私を見なさい。

Tormは彼を見る。

PROFESSOR
この病気で三日以上生きた人は誰もいない。
君の妹はどれくらい生きている？

TORM
三か月。

PROFESSOR
Shadow Feverは何千年も人々を苦しめてきた。
しかし、たった三か月で
小さな村の小さな女の子が、
何百年もかけて大学の医者や学者たちが
治療すらできなかった病を、
ほとんど治しかけているんだ。

君はこの疫病から世界を救うだろう、Torm。

TORM
じゃあ、次の病気が現れたら？

PROFESSOR
その時はそれを治す。
そしてまた次を、さらに次を。

TORM
プレッシャーすごいね。
世界を救うなんて、簡単そうに言うけど。

PROFESSOR
君なら本当にできる。
いや、もうやっているんだ。

教授は、Tormが笑顔を隠しているのに気づく。

PROFESSOR

ああ、今の笑顔を見たぞ。
笑ってもいいんだよ。隠さなくていい。

TORM

罪悪感があるの。

PROFESSOR

罪悪感？

TORM

うん。

PROFESSOR

Shadow Feverが、
君にとって興味深い問題だからかい？

TORM

解決策を考えるのが、
思っている以上に楽しいの...。
妹の病気はゲームじゃないのに、
時々、楽しんでいる自分がいる。

PROFESSOR

その情熱は世界のためになる。
もしもっと多くの人が問題を作る代わりに
解決することを楽しめたなら、
世界はもっと良い場所になるだろう。

TORM

どうしてこんなに時間がかかるの？
答えはシンプルに見えるのに。
悪い細胞と良い細胞を分離するだけ...。
妹はたくさんのことを逃しているのに、それが...

教授は顕微鏡を強く覗き込みながら、
Tormの言葉を途中で遮る。

PROFESSOR

Torm、そのサンプル番号は？

Tormはログブックを急いで確認し、
蝶のイラストを見る。

TORM

111、SOLIS LUX Rhopalocera。

PROFESSOR

SOLIS LUX Rhopalocera。
太陽の光の蝶だ。
そして比率は？

TORM

水のミネラル1に対して、

羽のオイルが1/111。
何が起きたの？

PROFESSOR
自分の目で見てごらん。

Tormは教授の位置に移動し、
機械の下のプレートを見る。

TORM
ゴースト細胞が見えない。

PROFESSOR
その通り。

TORM
まさか...？

PROFESSOR
もう一度実験してみよう。

二人がプレートをリセットしたとき、
村の大きな鐘が鳴り響く。

TORM
今の音は？

Tormは不思議そうな顔で尋ねる。
教授の表情は急に真剣になる。

PROFESSOR
その鐘を聞くのは、
君の両親が亡くなって以来だ。
家に戻った方がいい。
私はもう一度テストを試してみる。

Tormはプレートを彼に渡し、
急いで荷物をまとめる。

TORM
できるだけ早く戻るわ。

PROFESSOR
気をつけて。